職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設计	置認可年月	日	校	長名				所在地	所在地					
大阪ホテル鉄道&フ		217. F	成22年4月	1 🗆	宁	信美	〒 (住所)	556-0016 大阪府大阪市浪运	효모교때	つて日4来26早	L					
ビューティー専門							(電話)	06-4397-2463	还 产 7 C M J							
設置者名		設:	立認可年月	日	代表	者名	=	101-0065		所在地						
学校法人 大原	学園	昭和	和54年4月	1日	中本	毎彦	(住所)	東京都千代田区	西神田1	丁目1番3号						
分野		認定課程名	Z I		認定学科名	ζ	(電話)	03-6261-7717 門士認定年度	-	高度専門士認定	在度	職業宝辉重	門課程認定年度			
文化・教養		教養専門			ル観光鉄道			戊22(2010)年度	- "	<u> </u>	7/2		6(2014)年度			
7110 3712											Į					
学科の目的		育基本法お 目的とする。		育法にもとて	ゔき、マナー	指導はもちろ	ろん、ホテル	・観光及びエアライン	ンに関する	る教育を施し、人村	各の陶冶を行	ういもって有	為な産業人を育成			
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)	目標とする	资格:国内	1旅行業務取	双扱管理者記	 、総合旅	行業務取扱	党理者試 緊	食、ホテルビジネス実	終検定、	観光英語検定、淳	草字検定、マ	? ナー・プロト	コール検定等			
修業年限	昼夜	全課程の	修了に必要 単位	な総授業時 立数	数又は総	講	義	演習		実習	実験	ф	実技			
2 年	昼間	※単位時間、 かに記入	、単位いずれ	1,700	単位時間単位) 単位時間 - 単位	3,180 単位時間 - 単位	ı	240 単位時間 - 単位	0 単	単位時間 単位	0 単位時間			
生徒総定員	生徒爭	 美員(A)	留学生	数(生徒実員の)		留学生割		中退率								
160 人	111	Д		78	,	1	%	8 %								
	■卒業者		:		11		人	-								
		望者数(D)) :		10		Ļ	_								
	■就職者 ■地元就	数(E) 職者数(F))		10 7			-								
	■就職率	(E/D)			100		%	- -								
	■就職者	に占める地	元就職者の)割合 (F/E)			04									
	■卒業者(こ占める就	職者の割合	(E/C)	70		%	=								
					91		%	_								
就職等の状況	■進学者				I		人	-								
	特になし															
	(令和	6	午	に聞する会も	n 7 任 5 日 1	日時点の情報	EL)									
		職先、業界		(CP() 7 D 111	нттолі	日紀2次47日初	(K.)									
	(令和6年度		1.47													
			タラグラント	ドホテル大阪	反、奈良ホ	スピタリティ	・サービス	株JWマリオット・ホラ	テル奈良	、東ビルエンター	-プライズ杉	株式会社、カ	ト阪市電気軌道			
					白浜館、ME	リゾート但原	馬、株式会	社HEROなど ホテ.	ル・旅行	鉄道業界への	就職					
			等から第三 下について任					無								
第三者による 学校評価	△中の場口	、かんはめ	11C 20. CIL	/EX 010 #1%												
十12.01									277 /m* /ul. 10	1 + 41 +1 1 1						
		評価団体:				受審年月:				と掲載した ページURL						
		評価団体:				受審年月:										
当該学科のホームページ			ı.ac.jp/senr	mon/school	/namba_br											
当該学科の			a.ac.jp/senn	mon/school	/namba_br											
当該学科のホームページ	https://w			mon/school	/namba_br											
当該学科のホームページ	https://w	ww.o-hara	る算定)	mon/school	/namba_br						1,700 单	单位時間				
当該学科のホームページ	https://w	ww.o-hara 立時間による	5算定)									単位時間				
当該学科のホームページ	https://w	ww.o-hara 立時間による	る算定) 対 うち企業等	と連携した	実験・実習	idal/ ・実技の授業					180 単	单位時間				
当該学科のホームページ	https://w	ww.o-hara 立時間による	5算定) 対 うち企業等 うち企業等	を連携した	実験・実習	idal/ ・実技の授業					180 単	単位時間 単位時間				
当該学科のホームページ	https://w	ww.o-hara 立時間による	る算定) 対 うち企業等	を連携した。 と連携した。 と業時数	実験・実習 演習の授業!	idal/ ・実技の授業 時数	美時数	生心經療時期			180 单 135 单 480 单	单位時間 単位時間 単位時間				
当該学科のホームページ	https://w	ww.o-hara 立時間による	5算定) 対 うち企業等 うち企業等	を連携した を連携した と業時数 うち企業等	実験・実習演習の授業	idal/ ・実技の授業 時数 必修の実験・	美昭・実技	の授業時数			180 单 135 单 480 单 0 单	单位時間 単位時間 単位時間				
当該学科のホームページ	https://w	ww.o-hara 立時間による	5算定) 女 うち企業等 うち企業等 うち必修授	を連携した を連携した 受業時数 うち企業等 うち企業等	実験・実習演習の授業と連携した。	・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の	美時数 ・実習・実技 ン授業時数	の授業時数			180 単 135 単 480 単 0 単 90 単	单位時間 単位時間 単位時間 単位時間				
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した	https://w	ww.o-hara 立時間による	5算定) 女 うち企業等 うち企業等 うち必修授	を連携した を連携した 受業時数 うち企業等 うち企業等	実験・実習演習の授業と連携した。	idal/ ・実技の授業 時数 必修の実験・	美時数 ・実習・実技 ン授業時数	の授業時数			180 単 135 単 480 単 0 単 90 単	单位時間 単位時間 単位時間				
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況	https://w	ww.o-hara な時間による 総授業時 愛	5算定) 女 うち企業等 うち企業等 うち企の修授	を連携した を連携した 受業時数 うち企業等 うち企業等	実験・実習演習の授業と連携した。	・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の	美時数 ・実習・実技 ン授業時数	の授業時数			180 単 135 単 480 単 0 単 90 単	单位時間 単位時間 単位時間 単位時間				
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した	https://w	ww.o-hara 立時間による	5算定) 女 うち企業等 うち企業等 うち企の修授	を連携した を連携した 受業時数 うち企業等 うち企業等	実験・実習演習の授業と連携した。	・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の	美時数 ・実習・実技 ン授業時数	の授業時数			180 単 135 単 480 単 0 単 90 単	单位時間 単位時間 単位時間 単位時間				
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況か	https://w	ww.o-hara な時間による 総授業時 愛	5 算定) 女 うち企業等 うち企業等 うち企業等 (うち企業	を連携した を連携した 業時数 うち企業等 うち企業等 と連携し	実験・実習の授業 演習の授業 と連携した。 と連携したたインター	・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の	実習・実技 実習・実技 対表 要等 要等 要等 要素 の 要素 の で の で の で の で の で の で の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	(の授業時数			180 单 135 单 480 单 0 单 90 单 180 单	单位時間 単位時間 単位時間 単位時間				
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 定で、A、Bいずれか	https://w	ww.o-hara な時間による 総授業時数 数による第	5 算定) 女 うち企業等 うち企業等 うち企業等 (うち企業	を連携した を連携した 業時数 うち企業等 うち企業等 と連携し	実験・実習の授業 演習の授業 と連携した。 と連携したたインター	・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の	実習・実技 実習・実技 対表 要等 要等 要等 要素 の 要素 の で の で の で の で の で の で の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	の授業時数			180 单 135 单 480 单 0 单 90 单 180 单	单位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間				
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況か	https://w	ww.o-hara な時間による 総授業時数 数による第	る算定) 女 うち企業等 うち必修授 (うち企業 草定)	を連携した を連携した 業時数 うち企業等 うち企業等 と連携し	実験・実習の授業と連携した。	・実技の授業 ・実技の授業 必修の実験・ 必修の演習の ンシップの授	実習・実技 実習・実技 対表 要等 要等 要等 要素 の 要素 の で の で の で の で の で の で の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	の授業時数			180 单 135 单 480 单 0 单 90 单 180 单	单位時間 单位時間 单位時間 单位時間 单位時間				
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況か	https://w	ww.o-hara な時間による 総授業時数 数による第	る算定) 女 うち企業等 うち必修授 (うち企業 草定)	と連携した と連携した 業時数 うち企業等 うち企業等 うち企業等と連携し	実験・実習の授業と連携した。	・実技の授業 ・実技の授業 必修の実験・ 必修の演習の ンシップの授	実習・実技 実習・実技 対表 要等 要等 要等 要素 の 要素 の で の で の で の で の で の で の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	の授業時数			180 单 135 单 480 单 90 单 180 单 — — 单 — — 章	单位時間 单位時間 单位時間 单位時間 单位時間				
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況か	https://w	ww.o-hara な時間による 総授業時数 数による第	る算定) 女 うち企業等 うち必修授 (うち企業 草定)	と連携した と連携した 業時数 うち企業等 うち企業等 うち企業等と連携し なと連携した と連携した	実験・実習の授業 を連携した。 と連携した。 とは携した。 たインター 実験・実習 演習の単位。	・実技の授業 ・実技の授業 必修の実験・ 必修の演習の ンシップの授	実習・実打)授業時数)授業時数) 型業時数)				180 单 135 单 480 单 0 单 180 单 - 单	单位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間				
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況か	https://w	ww.o-hara な時間による 総授業時数 数による第	る算定) 女 うち企業等 うち必修授 (うち企業 草定)	と連携した 実時数 うち企業等 うち企業等 うち企業等と連携した ると連携した 位数 うち企業等	実験・実習の授業 と連携したこと連携したことでインター 実験・実習の演習の単位。	 ・実技の授業 ・実技の授業 必修の実験・ 必修の演習の ・実技の単位 数 	実習・実打)授業時数)受業時数) 立数 実習・実材				180 单 135 单 480 单 0 单 90 单 180 单 - 单	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位				
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 定で、A、Bいずれか	https://w	ww.o-hara な時間による 総授業時数 数による第	5. 算定) 女 うち企業等等 うち必修核 (うち企業 草定) うち企業等等 うち企業等等が うち企業を うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うち	と連携した ・主連携した ・実時数 ・うち企業等 ・うち企業等 ・を連携した ・と連携した ・と連携した ・と連携した ・・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	実験・実習の授業 と連携したこと連携したこと連携したこと連携したこと連携したこと	・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の が ・ 実技の単位 ・ 実技の単位 を を 数 の 変数	実習・実打)授業時数) 立数 実習・実打 単位数				180 单 135 单 480 单 0 单 90 单 180 单 - 单 = - = = = = = = = = = = = = = = =	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位				
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 定で、A、Bいずれか	https://w	ww.o-hara な時間による 総授業時数 数による第	5. 算定) 女 うち企業等等 うち必修核 (うち企業 草定) うち企業等等 うち企業等等が うち企業を うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うち	と連携した ・主連携した ・実時数 ・うち企業等 ・うち企業等 ・を連携した ・と連携した ・と連携した ・と連携した ・・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	実験・実習の授業 と連携したこと連携したこと連携したこと連携したこと連携したこと	・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の実験・ のかの方面の担 ・ 実技の単位 ・ 実技の単位 を を の 変習の 数 を の 変数 の 変数 の 変数 の 変数 の 変数 の 変数 の 変数	実習・実打)授業時数) 立数 実習・実打 単位数				180 单 135 单 480 单 0 单 90 单 180 单 - 单 = - = = = = = = = = = = = = = = =	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位				
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況か	https://w	ww.o-hara な時間による 総授業時数 数による第	5. 算定) 女 うち企業等等 うち必修核 (うち企業 草定) うち企業等等 うち企業等等が うち企業を うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うち	と連携した ・主連携した ・実時数 ・うち企業等 ・うち企業等 ・を連携した ・と連携した ・と連携した ・と連携した ・・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	実験・実習の授業 と連携したこと連携したこと連携したこと連携したこと連携したこと	・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の実験・ のかの方面の担 ・ 実技の単位 ・ 実技の単位 を を の 変習の 数 を の 変数 の 変数 の 変数 の 変数 の 変数 の 変数 の 変数	実習・実打)授業時数) 立数 実習・実打 単位数				180 单 135 单 480 单 0 单 90 单 180 单 - 单 = - = = = = = = = = = = = = = = =	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位				
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況か	https://w	ww.o-hara な時間による 総授業時数 放数による第 総単位数	5 算定) 対 うち企業等等 うち必修技 (うち企業等等) うち企業等等等 うち企業等等等 うち企業等等等 うち企業等等等	と連携した と連携した 主楽時数 うち企業等 うち企業等と連携した をと連携した がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 で	実験・実習の授業と連携した。 と連携した。 たインター 実験・実習の単位 と連携した。 たインター と連携した。 たインター	・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の実験・ のかのでである。 ・実技の単位 数 と必修の実験・ 数 と必修の実験・ 数 と必修の実験・ のである。	実習・実打)授業時数) 立数 実習・実打 単位数				180 单 135 单 480 单 0 单 90 单 180 单 - 单 = - = = = = = = = = = = = = = = =	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位				
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 定で、A、Bいずれか	https://w	ww.o-hara な時間による 総授業時数 による 数による 数による 数では、 のでは、 ののでは、	5 算定) な	と連携した ・と連携した ・実時数 うち企業等 うち企業等と連携した ・と連携した ・と連携した ・と連携した ・と連携した ・と連携した ・と連携した ・と連携した ・と連携した ・と連携した ・と連携した ・と連携した ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	実験・実習の授業 と連携したに たインター 実験・実習の単位 と連携したに たインター た後、 であって を表 の と を表 の と を表 の と を を を た た た た を を た を を を を を を を を を	・実技の授業 時数 必修の実験・の変形ののでいる。 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実践のよいて関係である。	実習・実数 実業時数) 支業時数) 立数 実質位数 単位数)		ホームへ - ホームへ	- VURL	180 单 135 单 480 单 0 单 90 单 180 单 - 单 = - = = = = = = = = = = = = = = =	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位				
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況か	https://w	ww.o-hara な時間による 総授業時数 による 数による 数による 数では、 のでは、 ののでは、	3 算定) 対	と連携した と連携した 影楽時数 うち企業等 うち企業等と連携した と連携した と連携した うち企連携した を連携した を連携した うち企業等 と連携した なる企業等 と連携した	実験・実習の授業 と連携したに たインター 実験・実習の単位 と連携したに たインター た後、 であって を表 の と を表 の と を表 の と を を を た た た た を を た を を を を を を を を を	・実技の授業 時数 必修の実験・の変形ののでいる。 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実践のよいて関係である。	実習・実数 実業時数) 支業時数) 立数 実質位数 単位数)	の単位数	ホームへ - ホームへ	- VURL	180 单 135 单 0 单 90 单 180 单 — — — — — — — — — — — — — — — — — — —	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位				
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況か	https://w	ww.o-hara な時間による 総授業時数 とよる数 による数 でも担実を を当する でも担実を をする でもなる。	3 算定) 対	と連携した ・と連携した ・実時数 うち企業等 うち企業等と連携した ・と連携した ・と連携した ・と連携した ・と連携した ・と連携した ・と連携した ・と連携した ・と連携した ・と連携した ・と連携した ・と連携した ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	実験・実習の授業 と連携したに たインター 実験・実習の単位 と連携したに たインター た後、 であって を表 の と を表 の と を表 の と を を を た た た た を を た を を を を を を を を を	・実技の授業 時数 必修の実験・の変形ののでいる。 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実践のよいて関係である。	実習・実数 実業時数) 支業時数) 立数 実質位数 単位数)	の単位数	ホームへ - ホームへ	- VURL	180 单 135 单 0 单 90 单 180 单 — — — — — — — — — — — — — — — — — — —	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位				
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況か	https://w	ww.o-hara な時間による 総授業時勢 が当年を表 のの修上 である のの修上 を発 をする なのの である のの のの である のの	3 算定) 対	と連携した と連携した 意楽時数 うち企業等 等と連携した と連携した と連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した できる。 をと連携した できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	実験・実習の授業 と連携したに たインター 実験・実習の単位 と連携したに たインター た後、 であって を表 の と を表 の と を表 の と を を を た た た た を を た を を を を を を を を を	・実技の授業 時数 必修の実験・の変形ののでいる。 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実践のよいて関係である。	実習・実技)授業時数)受業時数) 立数 実習・実技 単位数) (専修等	の単位数	ホーム^	→ VURL	180 单 135 单 0 单 90 单 180 单 — — — — — — — — — — — — — — — — — — —	単位時間間単位時間間単位時間間単位時間間単位位時間間単位位時間間単位位時間間単位位時間間単単位は10位単単位位単単位位単単位位単単位位単位位単位位				
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況か	https://w (A:単位 (B:単位	ww.o-hara な時間による 総授業時数 が数による数 (1) の担修業と でも対象と でも対象と でも対象と でも対象と でも対象と でも対象と でも対象と でも対象と でも対象と でも対象と でも対象と でも対象と でも対象と でも対象と でも対象と でも対象と でもがある。 でもがもがなる。 でもがもがもがなる。 でもがもがもがなる。 でもがもがなる。 でもがもがもがもがなる。 でもがもがもがもがなる。 でもがもがもがもがもがもがもがもがもがもがもがもがもがもがもがもがもがもがもが	5 算定) 対	と連携した と連携した をと連携した うち企業等 うち企連携し と連携した と連携した うちと連携した うちと連携した をと連携した うちと連携し うちと連携し うちと連携し うちと連携し うちと できると できると できると できると できると できると できると できる	実験・実習の授業 と連携したに たインター 実験・実習の単位 と連携したに たインター た後、 であって を表 の と を表 の と を表 の と を を を た た た た を を た を を を を を を を を を	・実技の授業 時数 必修の実験・の変形ののでいる。 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実践のよいて関係である。	実習・実技)授業時数) 支業時数) 立数 実習・実技 単位数 (専修等	の単位数 学校設置基準第41条第	ホームへ 新項第1号)	180 単 135 単 480 単 0 単 90 単 180 単 - 単 - 単 - 単 - 単 - 単 - 単 - 単 - 単 - 単	单位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位位時間 単単位 単単位 単単位 単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 単位				
当該学科のホームページ URL 企業等等の実施ずれ に記入)	https://w (A:単位 (B:単位	ww.o-hara z時間による 総授業時数 が数に単位数 (1) で程年 (2) 学 1 等 (3) 高等 (4) で 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1	5 算定)	と連携したと連携したと連携した。 と連携した。 を事務を企連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を変素等した。 を必要等等した。 を修した。 を修した。 を修りた。 をををををををををををををををををををををををををををををををををををを	実験・実習の授業 と連携したに たインター 実験・実習の単位 と連携したに たインター た後、 であって を表 の と を表 の と を表 の と を を を た た た た を を た を を を を を を を を を	・実技の授業 時数 必修の実験・の変形ののでいる。 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実践のよいて関係である。	実習・実技 (東等教) (東等教) (東位教) (東修等) (東修等)	での単位数 学校設置基準第41条第 学校設置基準第41条第	ホームへ 新項第1号 新項第2号))	180 単 135 単 480 単 0 単 180 単 180 単 180 単 180 単 - 単 - 単 - 単 - 単 - 単 - 単 - 単 - 単 - 単	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位位時間 単位位 単位位 単位位 単位位				
当該学科の ホームページ URL 企業等の実施技術か に記入)	https://w (A:単位 (B:単位	ww.o-hara な時間による を	3 算定)	と連携したと連携したと連携した。 と連携した。 を事務を企連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を変素等した。 を必要等等した。 を修した。 を修した。 を修りた。 をををををををををををををををををををををををををををををををををををを	実験・実習の授業 と連携したに たインター 実験・実習の単位 と連携したに たインター た後、 であって を表 の と を表 の と を表 の と を を を た た た た を を た を を を を を を を を を	・実技の授業 時数 必修の実験・の変形ののでいる。 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実践のよいて関係である。	実習・実対 シ授業時数) 支援等時数) 立数 実習・実対 単位数) (専修等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等	の単位数 学校設置基準第41条第 学校設置基準第41条第 学校設置基準第41条第	ホームへ 第1項第1号 第1項第3号 第1項第4号	→ VURL	180 单 135 单 0 单 90 单 180 单 — — — — — — — — — — — — — — — — — — —	单位時間 単位時時間 単位時時間 単位は時間 単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 上位位				
当該学科のホームページ URL 企業等等の実施ずれ に記入)	https://w (A:単位 (B:単位	ww.o-hara な時間による 総授業時数 による数 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	3 算定)	とと連携したと連携したと連携した。 とと連携した。 ううちと連携した。 ううちと連携したした。 な数企産業等した。 な数企産機している。 な数では、できるとは、できるとは、できると、できると、できると、できると、できると、できる。 は、できると、できると、できると、できると、できると、できると、できると、できると	実験・実習の授業 と連携したに たインター 実験・実習の単位 と連携したに たインター た後、 であって を表 の と を表 の と を表 の と を を を た た た た を を た を を を を を を を を を	・実技の授業 時数 必修の実験・の変形ののでいる。 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実践のよいて関係である。	実習・実対 シ授業時数) 支援等時数) 立数 実習・実対 単位数) (専修等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等	での単位数 学校設置基準第41条第 学校設置基準第41条第	ホームへ 第1項第1号 第1項第3号 第1項第4号	→ VURL	180 单 135 单 0 单 90 单 180 单 — — — — — — — — — — — — — — — — — — —	单位時間間 単位時時間 単単位時時間 単単位 単単位 単単位 単単位 単位 単位 単位 単位 上 上 上 上 上 上				
当該学科のホームページ URL 企業習等の場合である。 企業習のの場合である。 に記入) に記入) に記入)	https://w (A:単位 (B:単位	ww.o-hara な時間による を	3 算定)	とと連携したと連携したと連携した。 とと連携した。 ううちと連携した。 ううちと連携したした。 な数企産業等した。 な数企産機している。 な数では、できるとは、できるとは、できると、できると、できると、できると、できると、できる。 は、できると、できると、できると、できると、できると、できると、できると、できると	実験・実習の授業 と連携したに たインター 実験・実習の単位 と連携したに たインター た後、 であって を表 の と を表 の と を表 の と を を を た た た た を を た を を を を を を を を を	・実技の授業 時数 必修の実験・の変形ののでいる。 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実践のよいて関係である。	実習・実対 シ授業時数) 支援等時数) 立数 実習・実対 単位数) (専修等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等	の単位数 学校設置基準第41条第 学校設置基準第41条第 学校設置基準第41条第	ホームへ 第1項第1号 第1項第3号 第1項第4号	→ VURL	180 单 135 单 0 单 90 单 180 单 — — — — — — — — — — — — — — — — — — —	单位時間間 単位時時間 単単位時時間 単単位 単単位 単単位 単単位 単位 単位 単位 単位 上 上 上 上 上 上				
当該学科のホームページ URL 企業習等の場合である。 企業習のの場合である。 に記入) に記入) に記入)	https://w (A:単位 (B:単位	ww.o-hara な時間による 総授業時数 による数 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	3 算定)	とと連携したと連携したと連携した。 とと連携した。 ううちと連携した。 ううちと連携したした。 な数企産業等した。 な数企産機している。 な数では、できるとは、できるとは、できると、できると、できると、できると、できると、できる。 は、できると、できると、できると、できると、できると、できると、できると、できると	実験・実習の授業 と連携したに たインター 実験・実習の単位 と連携したに たインター た後、 であって を表 の と を表 の と を表 の と を を を た た た た を を た を を を を を を を を を	・実技の授業 時数 必修の実験・の変形ののでいる。 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実技の単位 ・実践のよいて関係である。	実習・実対 シ授業時数) 支援等時数) 立数 実習・実対 単位数) (専修等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等	の単位数 学校設置基準第41条第 学校設置基準第41条第 学校設置基準第41条第	ホームへ 第1項第1号 第1項第3号 第1項第4号	→ VURL	180 单 135 单 0 单 90 单 180 单 — — — — — — — — — — — — — — — — — — —	单位時間間 単位時時間 単単位時時間 単単位 単単位 単単位 単単位 単位 単位 単位 単位 上 上 上 上 上 上				
当該学科のホームページ URL 企業習等の場合である。 企業習のの場合である。 に記入) に記入) に記入)	https://w (A:単位 (B:単位	ww.o-hara 立時間による 数数に単位 数数に単位 数 (1) 東担係と でも対象と でも対象と でも対象と でも対象と でも対象と でも対象と でも対象と のは、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが	5 算定) 対	と連携したと連携した。 主要時数 うち企業等 うちを連携したときとととという。 ことととという。 はな数な企業等もした。 はな数な企業等もしました。 はな数な企業等もしましましましましましま。 はな数な企業等もしましましま。 はな数な企業等もしましましま。 はな数な企業等もしましま。 はな数な企業等もしましま。 はな数な企業等もしましま。 はな数な企業等もしましま。 はな数な企業等もしましま。 はな数な企業等もしましま。 はな数な企業等もしましま。 はな数な企業等もしま。 はな数な企業を表しま。 はな数な企業を表しま。 はな数な企業を表しま。 はな数な企業を表しま。 はな数な企業を表しま。 はな数な企業を表しま。 はな数な企業を表しま。 はなるなである。 はなななである。 はなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	実験・実習 実際・実習の授業 と連携したたく と連携したたく とき 実質 がまま とき	・実技の授業 ・実技の授業 ・実技の授業 ・必修の実験・習の授 ・・数 ・・数 ・・数 ・・数 ・・数 ・・数 ・・数 ・・数 ・・数 ・・	実習・実数 ラ授業時数) 支業である 支援を表する 支援を表する 支援を表する 支援を表する 大変を与うな。 大変を与なを与なを与なを与なを与なを与なを与なを与なを与なを与なを与なを与なを与なを	を を を な を な を な 設置 基準 第41 条第 を な 設置 基準 第41 条第 を な 設置 基準 第41 条第 を な と な 改 を を な を を な を を な を を を を を を を を を を を を を	京1項第1号 第1項第2号 第1項第3号 第1項第5号)))))))))))))))))))	180 単 135 単 480 単 0 単 180 単 180 単 180 単 180 単 - 単 - 単 - 単 - 単 - 単 - 単 - 単 - 単 - 単	単位時間間 単単位時間間 単単位時間間 単単位位時間間 単単位位時間間 単単位位時間間 単単位位時間 単単位位				
当該学科のホームページ URL 企業等等の実施ずれ に記入)	https://w (A:単位 (B:単位	ww.o-hara な時間による 総授業時勢 が	3 算定) うち企業等等接受 第 等等接受 第 等等接受 第 等等 等 単 単 を	と連携したと連携した。 主要時数 うち企業等 うちを連携したときとととという。 ことととという。 はな数な企業等もした。 はな数な企業等もしました。 はな数な企業等もしましましましましましましましま。 はな数な企業等もしましましま。 はな数な企業等もしましましま。 はな数な企業等もしましま。 はな数な企業等もしましま。 はな数な企業等もしましま。 はな数な企業等もしましま。 はな数な企業等もしましま。 はな数な企業等もしましま。 はな数な企業等もしましま。 はな数な企業等もしましま。 はな数な企業等もしま。 はな数な企業等もしま。 はな数な企業等もしま。 はな数な企業等もしま。 はな数な企業等もしま。 はな数な企業等もしま。 はな数な企業等もしま。 はな数な企業等もしま。 はな数な企業等もしま。 はな数な企業等もしま。 はな数な企業等もしま。 はな数な企業等もしま。 はなるできる。 はななるできる。 はなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	実験・実習素をと連携したため、 と連携したため、 実験で関連したが、 実験で関連したが、 ととまたてが、 ととまたであり、 ととまたであり、 とでもいる。 とでも、 とでも、 とでも、 とでも、 とでも、 とでも、 とでも、 とでも、 とでも、 とでも、 とで	・実技の授業 ・実技の授業 ・実技の授業 ・必修の実験・習の授 ・・数 ・・数 ・・数 ・・数 ・・数 ・・数 ・・数 ・・数 ・・数 ・・	実習・実数 ラ授業時数) 支業である 支援を表する 支援を表する 支援を表する 支援を表する 大変を与うな。 大変を与なを与なを与なを与なを与なを与なを与なを与なを与なを与なを与なを与なを与なを	の単位数 学校設置基準第41条第 学校設置基準第41条第 学校設置基準第41条第	京1項第1号 第1項第2号 第1項第3号 第1項第5号)))))))))))))))))))	180 单 135 单 0 单 90 单 180 单 — — — — — — — — — — — — — — — — — — —	単位時間間 単単位時間間 単単位時間間 単単位位時間間 単単位位時間間 単単位位時間間 単単位位時間 単単位位				
当該学科のホームページ URL 企業等等の実施ずれ に記入)	https://w (A:単位 (B:単位	ww.o-hara な時間による 総授業時勢 が	3 算定) うち企業等等接受 第 等等接受 第 等等接受 第 等等 等 単 単 を	と連携したたまで、 と連携したたまで、 ううちと連携したたまで、 ううちと連携したたまで、 とと連携したたまで、 ととを表しなうう。等とを事に従う。 を事に従う。 を事に従う。 を事に従う。 を事に従う。 を事には、 でもままで、 できまで、 できなでで、 できなでで、 できなでをなでで、 できなでで、 できなでで、 できなでをででで、 できなででででででででででででででででででででででででででででででででででで	実験・実習素をと連携したため、 と連携したため、 実験で関連したが、 実験で関連したが、 ととまたてが、 ととまたであり、 ととまたであり、 とでもいる。 とでも、 とでも、 とでも、 とでも、 とでも、 とでも、 とでも、 とでも、 とでも、 とでも、 とで	・実技の授業 ・実技の授業 ・実技の授業 ・必修の実験・習の授 ・・数 ・・数 ・・数 ・・数 ・・数 ・・数 ・・数 ・・数 ・・数 ・・	実習・実数 ラ授業時数) 支業である 支援を表する 支援を表する 支援を表する 支援を表する 大変を与うな。 大変を与なを与なを与なを与なを与なを与なを与なを与なを与なを与なを与なを与なを与なを	を を を な を な を な 設置 基準 第41 条第 を な 設置 基準 第41 条第 を な 設置 基準 第41 条第 を な と な 改 を を な を を な を を な を を を を を を を を を を を を を	京1項第1号 第1項第2号 第1項第3号 第1項第5号)))))))))))))))))))	180 単 135 単 480 単 0 単 180 単 180 単 180 単 180 単 - 単 - 単 - 単 - 単 - 単 - 単 - 単 - 単 - 単	単位時間間 単単位時間間 単単位時間間 単単位位時間間 単単位位時間間 単単位位時間間 単単位位時間 単単位位				

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課 程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
- ①卒業生の主な就業先である航空業界企業・旅行業界企業・ホテル業界企業と連携して教育課程の編成を行うことにより、 専門的かつ実践的な知識・技術を修得した即戦力となる人材を育成する。
- ②文化教養分野における学修の中心となる航空関連知識、運輸関連知識、旅行関連知識、宿泊関連知識、情報パソコンスキル等の教育内容に関して、教育課程編成委員会を通じて常に業界の最新の情報を反映させる。
- ③上記①、②により編成された授業科目、内容が実践習得されているかどうか、教育課程編成委員による実践的視点で評価を受け、課題を浮き彫りにする事で、教育の質の確保ならびに更なる教育の質向上に活用する。
- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
- ①位置づけについて

教務部(課)の上位に教育課程編成委員会を設置し、企業等からの提言を参考にして本校の教育課程編成について協議 策定するための機関として位置づける。また、委員会での協議結果は大原学園教育本部に提出し、大原学園全校の教育 課程編成にも活用していく。

- ②意思決定の過程について
- (ア)学科の目的に基づき予め学内において現状の課題等を明確にした上で、教育課程編成委員会に提言を求める。
- (イ)委員会では企業等からの意見を参考に次年度以降の教育課程編成に関する改善案を策定する。
- (ウ)委員会での協議内容は学園教育本部に提出し、学園全校の教育課程編成にも活用していく。
- (エ)教育課程編成委員に教育現場の責任者である校長、就職本部長、教務部長が参加することで、企業等の委員から提示された課題、改善提案を速やかに次年度以降の教育課程(授業科目、内容、手法)の編成に反映させることができる。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
宮路 信美	大阪ホテル鉄道&ブライダルビューティー専門 学校 校長		
山本 省二	大原学園 関西圏 就職本部		
藤川 宏明	大阪ホテル鉄道&ブライダルビューティー専門 学校 教務部 部長	_	
梶原 賢二	大阪ホテル鉄道&ブライダルビューティー専門 学校 教務部 課長代理	_	
武内 悟	一般財団法人日本ホテル教育センター 企画 部開発室室長	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	1
桑名 美保	一般社団法人日本旅行業協会 広報室長	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	1
真山 美雪	一般社団法人日本CA協会 会長	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	1
松原 輝和	株式会社JTB 神戸支店 営業第二課長	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	3
向吉 正実	東武トップツアーズ株式会社 関西支社 大阪法人事業部 営業担当部長	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	3
森山 昭弘	株式会社TEI 大阪支店 支店長	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	3
川喜多 美由紀	株式会社阪急阪神ホテルズ 人材開発部人材 育成 課長	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	3

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (8月、11月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年8月1日 16:40~17:30

第2回 令和6年11月14日 16:40~17:30

第1回 令和7年8月7日 16:30~17:40

- (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
- ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
- ①第1回目の委員会において、旅行観光業界は人材不足が叫ばれており、どのように確保するかが課題となっている。教育機関では在学中に即戦力で活躍するための知識や技能を身につけさせるカリキュラムが必要である。具体的には、業界の知識、職種の理解、総合力として、プレゼンカ、電話応対教育などの表現力が挙がった。既にカリキュラムに反映させているものもあるが、一部修正しながらカリキュラムに反映させた。
- ②第2回目の委員会においては、旅行観光業界において必要な資格やスキルについて意見を頂戴した。ホテルビジネス実務検定1級、マナー・プロトコール検定、旅程管理主任者、各種国家試験などに加え、英会話力などの語学力向上なども挙がった。現状のカリキュラムをブラッシュアップしながら意見を頂戴した試験や技能指導をカリキュラムに反映させていく方向で調整する。
- 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係
- (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

実務能力の習得を最大の指導方針とし、さらに、プロとして必要な技量を会得させることを目標とする。

具体的には国際空港や海外のシティホテルについて学習し、プロとして働く醍醐味と厳しさを理解させる。さらに、ツアープラ ンニングを通じて旅行企画手法を学び、かつ、現地にて、添乗実習を行うことで、総合的な旅行観光知識・体得を目指す。

- (2)実習・演習等における企業等との連携内容
- ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記
- 旅行観光ホテル分野の授業運営に関して、企業などと連携し、以下の連携内容で実施している。
- ①授業内容

実務的な観点からツアープランニングに助言を頂き、さらに提携企業を通じて、空港視察やホテル見学などの学習機会の場の提供を頂く。連携企業の助言を元に、ツアープランニング、および、実習・演習の運営方法につき十分な検討を行い、教育テーマを共有する。

- ②実施方法
- 連携企業より学内でツアープランニング手法の講義、その後、助言を基に学内でツアープランの企画制作を行う。
- ③実習・演習等の実施
- 作成したツアープランを現地にて実習・演習を行い、プランの実現性など確認。
- ④学習成果の評価
- 実務で必要とされる知識習得をポイントとし、作成したツアープランニング内容を直接評価。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載

	 本業事権の去法		古 惟 入 娄 左
科目名	企業連携の方法	科目概要	連携企業等
ツアープランニング I	2.【校内】企業等から の講師が一部の授業 のみを担当	ツアープランニングをグループで実施。テキストによる講義と現状研究から総合演習により企画書を作成し、プレゼンにて評価を行う。実際に現地にも足を運ぶ。	
ホテル実習 I	4. 【校外】企業等が主 催するインターンシッ プ等(学科が主体的に 企画していないものを 指す。)	インターンとして各ホテルにてOJTにて実習を行う。現場の方より、実践的な基礎を学び、今後の就職活動に活かせる学習を行う。	株式会社阪急阪神ホテルズ など
ホテル実習Ⅱ	4.【校外】企業等が主 催するインターンシッ プ等(学科が主体的に 企画していないものを 指す。)	インターンとして各ホテルにてOJTにて実習を行う。現場の方より、実践的な基礎を学び、今後の就職活動に活かせる学習を行う。	株式会社阪急阪神ホテルズ など
ホテル業界研究	1.【校内】企業等から の講師が全ての授業 を主担当	外部企業による講演会を実施し、 ホテル業界の業務内容や業界の 現在と今後について学習し、就職 に向けた実践的な知識を養う。	ホテルモントレ株式会社 など
旅行業界研究	1.【校内】企業等から の講師が全ての授業 を主担当	外部企業による講演会を実施し、 旅行観光業界の業務内容や業界 の現在と今後について学習し、就 職に向けた実践的な知識を養う。	東武トップツアーズ株式会社 など

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

専門的かつ実践的な知識・技能を有し即戦力となる人材を育成するためには、教員一人ひとりが常に実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身につけなければならない。そのために下記のとおり教員研修の環境を整える。

①教職員研修規程 第10条(職場内教育)2(2)

教育課程編成委員会に参画する企業等から講師を派遣した実践的な知識・指導スキル研修を開催

(東武トップツア一株)・株)阪急阪神ホテルズなど)

②教職員研修規程 第11条(職場外教育研修)2(2)

各種業界団体、自治体の開催する研修会への参加

③教職員研修規程 第10条(職場内教育)2(3)

学内教育本部が主催する知識技能及び指導力の習得・向上のための教職員研修会の開催

④教職員研修規程 第12条(自己啓発援助)2(1)

学内に設置される附帯教育講座を利用しての自己啓発

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: ホテル業務知識向上研修 連携企業等: ホテルモントレ株)

期間: 2025年2月15日 対象: 教員

内容ホテル業務経験者より必要な能力技能の指導

研修名: 旅行観光業界知識向上研修 連携企業等:(㈱東武トップツアーズ)

期間: 2024年9月18日 対象: 教員

内容 旅行観光業界を目指す学生に最新の情報提供をするための知識習得研修

研修名: 旅行観光業界知識向上研修 連携企業等: ㈱TEI

期間: 2025年3月18日 対象: 教員

内容 添乗業務、エアライン業界を目指す学生に最新の情報提供をするための知識習得研修

②指導力の修得・向上のための研修等

専門学校教職員向けオンラインセミナー 留学生のイマを 連携企業等:大阪府専修学校各種連合会

^{听修石:} 知る

期間: 2025年1月16日 対象: 教員

内容 留学生募集の現状と各分野校の取り組み事例

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: ホテル業界知識向上研修 連携企業等: ㈱阪急阪神ホテルズ

期間: 2025年6月5日 対象: 教員

内容 ホテル業界について(各部門の仕事・英語の重要性)

研修名: 旅行観光業界知識向上研修 連携企業等: 北大阪急行㈱

期間: 2025年10月21日実施予定 対象: 教員

内容 鉄道観光業界を目指す学生に最新の情報提供をするための知識習得研修

研修名: 旅行観光業界知識向上研修 連携企業等: ㈱TEI

期間: 2026年2月実施予定 対象: 教員

内容 添乗業務、エアライン業界を目指す学生に最新の情報提供をするための知識習得研修

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 「外国人留学生採用フォーラム」 連携企業等: 大阪府専修学校各種連合会

期間: 2025年11月実施予定 対象: 教員

内容 ~ 多様性が求められる社会における外国人留学生の可能性 ~

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

当学園の教育理念は、学生に対して資格取得教育、実務教育を施し、人格の陶冶を行いもって有為な産業人を育成することである。この教育理念に基づき実践的な教育が実現出来ているか、また、その教育を実現するために必要な環境が整っているかについて、学校関係者評価委員を設置して下記に示す評価項目から評価する。評価結果については、学校長を通じて即座に次年度の学校運営に反映させる。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応 ガイドラインの評価項目 学校が設定する評価項目 ①理念・目的・育成人物像は定められているか。 (1)教育理念・目標 ②学校の特色はなにか。 ③学校の将来構想を抱いているか。 ①運営方針は定められているか。 ②事業計画は定められているか。 ③運営組織や意思決定機能は効率的なものになっているか。 (2)学校運営 ④人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか。 ⑤ 意思決定システムは確立されているか。 ⑥情報システム化等による業務の効率化が図られているか。 ①各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人 材ニーズに向けて正しく方向づけられているか。 ②修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか。 ③カリキュラムは体系的に編成されているか。 ④学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされている か。 ⑤キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施さ (3)教育活動 れているか。 ⑥授業評価の実施・評価体制はあるか。 ⑦育成目標に向け授業を行なう事ができる要件を整えた教員を確保し ⑧成績評価・単位認定の基準は明確になっているか。 ⑨資格取得の指導体制はあるか。 ①就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図ら れているか。 ②資格取得率の向上が図られているか。 (4)学修成果 ③退学率の低減が図られているか。 ④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。 ①就職に対する体制は整備されているか。 ②学生相談に関する体制は整備されているか。 ③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。 ④学生の健康管理を担う組織体制はあるか。 (5)学生支援 ⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか。 ⑥学生寮等、学生の生活環境への支援は行なわれているか。 ⑦保護者と適切に連携しているか。 ⑧卒業生への支援体制はあるか。 ①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されて いるか。 ②学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制 (6)教育環境 を整備しているか。 ③防災に対する体制は整備されているか。 ①学生募集活動は、適正に行なわれているか。 ②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。 (7)学生の受入れ募集 ③入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行なわれているか。

④学納金は妥当なものとなっているか。

(8)財務	①中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか。 ②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。 ③財務について会計監査が適正に行なわれているか。 ④財務情報公開の体制整備はできているか。
(9)法令等の遵守	①法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。 ②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。 ③自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。 ④自己点検・自己評価結果の公開はしているか。
(10)社会貢献・地域貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行なっているか。 ②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。
(11)国際交流	-

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校の自己点検の結果については高い評価をいただいている。世の中を見るとコロナによる影響は緩和を見せ、旅行観光 業やホテル業界において就労環境については改善が見られている。リモートを活用した面接は継続して多くの企業で導入されているため、対面での面接に加えて、リモートでの面接の話し方や表情への意識を再確認する。

外語校では留学生も多いことから、留学生に対する対応状況を報告しアドバイスをいただいた。掲示板に英語・中国語・韓国語だけにとどまらず、ミャンマー語など多言語の対応をしている点については高い評価をいただいた。インターシップやコンテストに対する企業や業界団体側の目線でのアドバイスをいただくことができた。特に技術面だけではない、人柄力や基礎力の向上の重要性の話をいただき、日々の学生指導においてこれまで以上に強く意識していくことを確認した。クラスでの担任の指導はもちろんのこと、全員参加の各種学校行事を通じて、社会適応能力を高める環境を積極的に提供していく。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
江口 美貴	株式会社ヴルーメン 代表取締役会長	令和7年4月1日~ 令和8年3月31日(1年)	企業等委 員
高野 芳樹	株式会社TAT 代表取締役社長	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	企業等委員
松原輝和	株式会社JTB 神戸支店 営業第二課長	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	企業等委員
向吉 正実	東武トップツアーズ株式会社 関西支社 大阪 法人事業部 営業担当部長	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	企業等委 員
森山 昭弘	株式会社TEI 大阪支店 支店長	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	企業等委員
川喜多 美由紀	株式会社阪急阪神ホテルズ 人材開発部人材 育成 課長	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	企業等委 員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(「ホームページ · 広報誌等の刊行物 · その他())

URL: https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/

公表時期: 令和7年10月6日

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

当学園の教育理念は、学生に対して資格取得教育、実務教育を施し、人格の陶冶を行いもって有為な産業人を育成することである。この教育理念に基づき実践的な教育が実現出来ているか、また、その教育を実現するために必要な環境が整っているかについて、学校関係者評価委員を設置して下記に示す評価項目から評価する。評価結果については、学校長を通じて即座に次年度の学校運営に反映させ改善を図る。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

(2) 守门子校にのける旧報徒供寺への取組に	
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	①学校の概要 ②目標·方針·特色 ③所在地、連絡先 ④学校の沿革
(2)各学科等の教育	①カリキュラム、時間割、目指す資格 ②検定、資格取得・検定試験合格実績 ③卒業生の進路
(3)教職員	①教職員数 ②教職員の専門性
(4)キャリア教育・実践的職業教育	①キャリア教育 ②実習・実技等 ③就職支援等
(5)様々な教育活動・教育環境	①学校行事 ②課外活動
(6)学生の生活支援	①完全担任制 ②就職教育
(7)学生納付金・修学支援	①学生納付金 ②奨学金、学費減免等
(8)学校の財務	学園の財務状況公開
(9)学校評価	学校関係者評価結果
(10)国際連携の状況	留学生の募集
(11)その他	各学科の担当教員紹介
ツ/40) ひが/44)についてはは辛引井	·

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ) · 広報誌等の刊行物 · その他(

))

URL: http://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka

公表時期: 令和7年10月6日

授業科目等の概要

	(文化教養専門課程 ホテル観光鉄道学科) 分類															
		分類	Į į			無 力	+亚		授	業プ		場	所	教	員	^
	必	選択	由	授業科目名	授業科目概要	配当年次	授業時	単位	講	演	実験・実習	校	校	専	兼	企業等との
	修	必修	選択			· 学 期	数	数	義	習		内	外	任	任	
1	0			一般教養 I	実社会において漢字を使いこなせることを 眼目におき、書けるだけではなく、実践的 に通用する使い方を修得する。日本ビジネ ス技能検定協会漢字検定3級に合格レベル の知識の学習を行う。	1 後	30	1		0		0		0		
2	0			一般教養Ⅱ	実社会において漢字を使いこなせることを 眼目におき、より高度なレベルの漢字を実 践的に通用する使い方を修得する。日本ビ ジネス技能検定協会漢字検定2級に合格レ ベルの知識の学習を行う。	2 前	30	1		0		0		0		
3	0				就職活動の基礎学習。座学を基に、面接試験において求められるビジネスマナーの基礎を学び実技演習を行う。入退室及び、自身のPRができるようになる。	1 後	30	1		0		0		0		
4	0			キャリアデザ	就職活動における業界研究及び企業研究を 中心に行う、会社などの組織を理解し、最 低限身につけなければならないスキルの学 習を行う。		30	1		0		0		0		
5	0			キャリアデザ インⅢ	就職活動や様々なケースでのマナーの学習 を行う。また社会環境を理解し、課題をク リアする力を身につける為の学習をする。	2 前	30	1		0		0		0		
6	0			観光英語I	観光業界では英語がそのまま専門用語となることも多く、その業界に特化した英語を 学習する。観光英語検定3級の基礎授業を 行う。	1 前	60	2	0	Δ		0		0		
7	0			会話)I	ネイティブスピーカーとの英会話レッスンで全員が発話し授業を進めていく。日常会話でのコミュニケーションを楽しみながら話せる力を養う事を目標に学習を行う。		30	1		0		0			0	
8	0				ネイティブスピーカーとの英会話レッスンで全員が発話し授業を進めていく。日常会話でのコミュニケーションを楽しみながら話せる力を養う事を目標に学習を行う。	1 後	30	1		0		0			0	
9	0			言語知識(英 会話)Ⅲ	ネイティブスピーカーとの英会話レッスンで全員が発話し授業を進めていく。ロールプレイングとディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る。	2 前	30	1		0		0			0	
10	0			言語知識(英 会話)IV	ネイティブスピーカーとの英会話レッスン で全員が発話し授業を進めていく。ロール プレイングとディスカッションを通じ、専 門的な知識と思考の定着を図る。		30	1		0		0			0	

			•		
11	0		観光業界キャリアデザイン	就職活動における業界の動向など、観光業界に特化した対策を行う。書類対策及び、後30 1 O O O T O T O T O T O T O O T O T O O T O T O T O O T O T O O T O T O O T O O T O O T O O T O O T O O T O O T O O O O T O	
12	0		マナー・プロトコール	社会人として必須のマナー、プロトコール (国際儀礼)、冠婚葬祭などの基本的知識 を学ぶ。	
13	0		ビジネスマナー	社会人一般基礎知識として、ビジネス電話 対応や接客、接遇に関するルールを学習す る。実践も取り入れ学習する。	
14		0	国内旅行基礎 (業法) I	国内・総合旅行業務取扱管理者試験の「旅行業法」についての学習を行う。専門の法 1 はを学び、旅行会社の成り立ちについて学 前 30 1 〇 〇 ○ ぶ。	
15		0	国内旅行基礎 (約款) I	国内・総合旅行業務取扱管理者試験の「約款」についての学習を行う。旅行者との契約に関してのルールを学ぶ。	
16		0	国内旅行基礎 (運賃) I	国内・総合旅行業務取扱管理者試験の「実 務科目」のJR運賃料金計算を中心に、航 1 空・宿泊・フェリー・貸切バスについて学 前 30 1 〇 〇 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
17		0	国内旅行応用	国内旅行業務取扱管理者試験の基礎講義後に、試験対策として問題答練を実施する。	
18		0	総合旅行基礎 (出入国法 令) I		
19		0	総合旅行基礎 (実務) I	総合旅行業務取扱管理者試験の「海外実 務」科目の一部について学ぶ。時差計算、 1 航空時刻表、都市・空港コードなどを学習 後 30 1 〇	
20		0		総合旅行業務取扱管理者試験の「海外実 務」科目の一部について学ぶ。航空運賃、 海外観光資源などを学習する。	
21		0		総合旅行業務取扱管理者試験の「約款」科 目のレベルアップを行う。問題演習を中心 に、講義の内容を確認しながら進め、得点 力を身に付ける。	
22		0	総合旅行演習 (出入国法 令)Ⅱ	総合旅行業務取扱管理者試験の「海外旅行実務」科目の「出入国法令」につき、レベルアップを行う。問題演習を中心に、内容を確認しながら進め得点力を身に付ける。	
23		0	総合旅行演習 (実務)Ⅱ	総合旅行業務取扱管理者試験の「海外旅行 実務」科目の「実務」につき、レベルアップを行う。問題演習を中心に、内容を確認 前 しながら進め得点力を身に付ける。	
24		0	総合旅行演習 (運賃、地 理)Ⅱ	総合旅行業務取扱管理者試験の「海外旅行 実務」科目の「航空運賃」及び「海外地 理」につき、レベルアップを行う。問題演 習を中心に、内容を確認しながら進め得点 力を身に付ける。	

0		ホテル実務I	ホテルビジネス実務検定ベーシックレベル 2級に向けた学習を行う。部門ごとに学習 を行う、ホテル知識の基礎を学習する。	1 後	30	1	0			0	0	
0		ホテル実務Ⅱ	ホテルビジネス実務検定ベーシックレベル 2級に向けた学習を行う。問題を解きなが ら、知識の定着を図る。	1 後	30	1	0			0	0	
0		ホテル実践I	ホテル接客の基礎知識を学び、それを実践 して行う接客技術の演習。就職後に向けて 実践的な基礎技術を身に付ける。	2 前	30	1		0		0	0	
0		ホテル実践Ⅱ	ホテル接客の基礎知識を学び、それを実践 して行う料飲技術の演習。就職後に向けて 実践的な応用技術を身に付ける。	2 前	30	1		0		0	0	
	0		旅行・鉄道・観光業界における現状を把握し、業界マーケティングを学習する。理解した上でプランニング授業に活かす。	2 後	30	1	0			0	0	
	0	カウンタービ ジネスマナー	旅行会社におけるカウンター接客の基本を 学び、そのマナーや対応を学習する。	2 後	60	2		0		0	0	
	0	カウンタービ ジネスマナー 応用	旅行会社におけるカウンター接客の応用を 学び、そのマナーや対応を学習する。	2 後	30	1	Δ	0		0	0	
)	ツアープラン ニング応用	充光衣芸をコンテスト形式で行う。	2 後	##	4		0		0	0	
	0	鉄 道 マ ー ケ ティング応用	旅行観光・鉄道に関するマーケティングに ついて学び、プランニング時に必要な知識 を習得する。	2 後	30	1	0			0	0	
	0	鉄道ビジネス マナー	旅行会社のカウンター(切符販売など)に おける知識、ビジネスマナーを学ぶ。ロー に ルプレイを取り入れながら実践力を身に付 ける。	2 後	60	2		0		0	0	
	0		, <i>u</i> , _,, _ <u> </u>	2 後	30	1	0			0	0	
	0	ンホスマブ	的な接客ができるようになる。	2 後	60	2		0		0	0	
	0	ホテルフロン ト実習	ホテルフロントコース実習を行う。テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る。	2 後	30	1			0	0	0	
	0	ホテル業務実 習		2 後	30	1			0	0	0	
	0	WORD基礎	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解	2 前	30	1		0		0	0	
	0	WORD応用	PCの基礎操作並びにWordの応用的な操作を 習得する。MOS Wordレベルの操作を習得す る。	2 前	30	1		0		0	0	
	0		□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	 ○ ホテル実務I 2級に向けた学習を行う。部門ごとに学習を行う、ホテル知識の基礎を学習する。 ○ ホテル実務I 2級に向けた学習を行う。問題を解さながら、知識の定着を図る。ホテル実践I 1と級に向けた学習のる。ホテル実践I 1と数に向けた学習の表達を対している。 ホテル実践I 1とでいるとないで、それを実践して行う接客技術の場間のに対して行うといいで、またののよいで、またののよいで、またののでは、またののでは、またので	 ○ ホテル実務 I 2 級に向けた学習を行う。部門ごとに学習を行う、ホテル実務 I 2 級に向けた学習を行う。記している。 ホテル実務 I 2 級に向けた学習を行う。別職を学が、職後にへ同けて 2 級に関いの定着を図る。 ホテル実践 I 実践的な基礎知識変習のが、それを実践 2 前 ホテル実践 I 実践的な基礎対験ではでは、それを実践 2 前 ホテル実践 I 実践的な基礎知識変習が、 3 現状を理解を学が、職後に向けて 1 後 2 第 ホテル実践 I 実践的な基礎対験ではでは、 4 表 1 と 1 を 2 後 2 前 ホテル実践 I 実践的な基礎対験を学が、 5 表 1 と 2 後 2 前 ホテル実践 I 実践的な応用技術を身に付ける。	○ ホテル実務 I 2 級に向けた学習を行う。部門でとに学習を行う。ホテル知識の基礎を学習する。 ホテルにジネスマナー	○ ホテル実務 I を行う、かテル知識の基礎を学習する。	○ ホテル実務 I 2 級に向けた学習を行う。部門ごとに学習 後 30 1 ○ ホテル実務 I	○ ホテル実務 I 2 綴に向けた学習を行う。部門ごとに学習習を行う、ホテル知識の基礎を学習する。 ホテル実務 I 2 総に向けた学習を行う。問題を解きなが 後 30 1 ○ ホテル実務 I 2 総に向けた学習を行う。問題を解きなが 6 知識の定着を図る。 ホテル実務 I 2 総に向けた学習を行う。問題を解きなが 6 知識の定着を図る。 ホテル実践 I 工夫の接容の基礎知識を学び、それを実践して残らを著を図る。 ホテル実践 I 大子の接て技術の演習。就職後に向けて実践的な応用技術を身に付ける。 ホテル実践 I 大子の治療技術の演習。就職後に向けて実践的な応用技術を身に付ける。 トラベルマー	□ ホテル実務 I 2級に向けた学習を行う。部門ことに学習 表行う、ホテル知識の基礎を学習する。 ホテル実務 I 2級に向けた学習を行う。問題を解きなが。 2級に向けた学習を行う。問題を解きなが。 2級に向けた学習を行う。問題を解きなが。 2級に向けて学習を行う。問題を解きなが。 2級に向けて学問を整理を持備の演習。就職後に向けて 2 の ホテル実践 I 大で行う解析を身に付ける。 ホテル実践 I 大で行う料飲技術の演習。就職後に向けて 2 の 下ル実践 I 大で行う料飲技術の演習。就職後に向けて 2 の 下ルまで 2 の 下ルまで 2 の 下ルまで 2 の 下がす、2 の 下がす。 2 の 1 の 下がす、2 の 下がす。 2 の 1 の 下がり、2 の 下がり、3 の 1 の 1 の 1 の 下がり、3 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の	□ ホテル実務1 2 級に向けた学習を行う、部門ごとに学習 を行う、ホテル知識の基礎を学習する。 □ ホテル実務1 2 級に向けた学習を行う、間題を解さなが を 330 1 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	□ ホテル実務 I 2 級に向けた学習を行う。部門ごとに学習 を行う、ホテル知應の基礎を学習する。 ホテル実務 I 2 級に向けた学習を行う、ホテル知應の基礎を学習する。 ホテル実務 I 2 級に向けた学習を行う。問題を解きなが 1 30 1 ○ ○ ○ □ ホテル実践 I 元行う接密技術の演習。就職後に向けて 1 30 1 ○ ○ □ □ ホテル実践 I 元行う接密技術の演習。就職後に向けて 2 30 1 ○ ○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

0	EXCEL基礎	Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用 法を習得する。テキストを確認しながら練 2 習問題を解くことができる操作力を身に付 後 1 0 0 にも。	0	0		
0	EXCEL応用	MOS Excel試験に合格するために必要な操作に関する総合的な知識を身につけるための演習。 2	0	0		
0	パソコン実習 I	Word、Excelを操作するための基礎的な知識を身につける実習。基本的な入力操作や書式設定、画像や表の挿入、関数の使用方法を理解する。	0	0		
0	言語知識(中 国語) I	中国人ネイティブ講師による授業を行う。 中国語への興味を深め、中国や中国語につ いての知識を広げ、今後本格的な中国語学 習のきっかけを作る。	0		0	
0	旅行マーケッ ト I	旅行マーケティングの基礎知識を学び、簡 単な旅行プランを企画する。有識者からの 助言に基づき、実践的知識を身に付ける。	0	0		
0	総合旅行基礎 (業法・国内 実務) I	総合旅行業務取扱管理者試験の「業法」 「国内実務」科目のレベルアップを行う。 講義にて内容を確認しながら進め、得点力 を身に付ける。	0	0		
0	ホテルブライ ダル概論 II	ブライダル実務検定試験2級の試験に向けた学習。ホテル業界で必須知識であるブラ 1 30 1 O いて深く学習をする。	0	0		
0	ホテルブライ ダル基礎 Ⅱ	ブライダル実務検定試験 2 級の試験に向けた学習。ホテルブライダルスタッフが知っ 1	0	0		
0	ホテルブライ ダル実務 Ⅱ	ブライダル実務検定試験2級の試験に向けた学習。問題演習と解説に加え、必要に応 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0	0		
0	色彩概論	色彩検定3級の試験に向けた学習を行う。 色彩に関しての基本ルールを学び理解を深 める。	0	0		
0	色彩応用	色彩検定3級の試験に向けた学習を行う。 問題演習と解説に加え、必要に応じて復習 講義を行い、より高度な知識定着を図る。	0	0		
0	接客サービス 実践 I	接客の現場基礎知識を基に、接客応対について指導する。反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る。	0	0		
0	接客サービス 実践 II	様々な職種の実技を行い、ロールプレイン グ形式での接客を行い、視野を広げ接客ス キルを高める。	0	0		
0	接客サービス 実践Ⅲ	への理解を深めていく。	0	0		
0	旅行業界研究	外部企業による講演会を実施し、旅行観光 業界の業務内容や業界の現在と今後につい 1 て学習し、就職に向けた実践的な知識を養 前 30 1	0		0	0
		O O	○ EXCEL基礎 法を習得する。テキストを確認しながら練 2 30 1 ○ ○	EXCEL基礎	C EXCEL基機	○ EXCEL基礎 習問差解

56	0	鉄道業界研究	観光業界の周辺知識として鉄道業界の学習を行う。観光マーケティングの理論を基に、就職活動を意識した学習を行う。		30	1		0	0	0		
57	0	旅行・エアラ イン業界業務 研究	外部企業による講演会を実施し、エアライン業界の業務内容や業界の現在と今後について学習し、就職に向けた実践的な知識を養う。	1	15	1	0		0	0		
58	0	添乗業務知識	添乗員の仕事はガイドではない。幅広い知識とホスピタリティが求められることを知る。		30	1	0	Δ	0	0		
59	0	JR時刻表	JR時刻表を使用し、どのページに何があるか、即座に対応できる知識を身に付ける。	2 後	30	1	4	0	0	0		
60	0	観光英語Ⅱ	「観光英語 I 」の基礎授業後に行い、試験対策として問題演習を繰り返し行う。過去の問題を中心に実施する。	1 後	60	2		0	0	0		
61	0	英検総合対策 I	英語検定準2級取得を目標に、基礎講義行う。講義に加え例題なども加えながら基本的知識の定着を図る。		30	1	0		0	0		
62	0	英検総合対策 Ⅱ	英語検定準2級取得を目標に、基礎講義終 了後に問題演習を行う。過去問題を中心に 様々な問題を行い、英語力の向上を行う。	1 後	30	1		0	0	0		
63	0	英検総合対策 Ⅲ	英語検定2級取得を目標に、基礎問題行う。2年時への学習に繋がるよう、準2級との違いなど確認学習を行う。	1 後	30	1		0	0	0		
64	0	英検総合対策 IV	英語検定2級取得のための、反復演習を行う。検定終了後は、TOEIC学習の授業に切り替えて、との違いを中心に学習を行う。		30	1		0	0	0		
65	0	英検総合対策 V	TOEIC受験対策を行い、高得点取得を目指す。リスニングとリーディングを中心に英語読解力向上を行う。	2 後	30	1		0	0	0		
66	0	マナー・プロ トコール応用	マナー・プロトコール検定2級合格に向けての学習を行う。3級からの応用として学習をし、更なる上級へのチャレンジを行う。	2	60	2	0	\triangleleft	0	0		
67	0	ツアープラン ニング I	神外にありるファーフフノーフグをグループで実施。テキストによる講義と現状研究から総合演習により企画書を作成し、プレゼンにて評価を行う。実際に現地にも足を 選ぶ	1 後	90	3		0	0	0	0	0
68	0	国内ツアープ ランニング	国内におけるツアープランニングを個人で実施。テキストによる講義と現状研究から総合演習により企画書を作成し、プレゼンにて評価を行う。	2	60	2		0	0	0		
69	0	マーケティン グ概論	マーケティングの必要性と目的を学習する。どのような構造で成り立っているのか、情報取集及び流通チャネルなど学習を行う。	2	30	1	0		0	0		
70	0	プレゼンテー ション概論	企画から発表までの一連の流れを学習する。社会におけるプレゼンテーションの必要性を説き、習得させる。	. 2	30	1		0	0	0		

71	0	時事研究	現代社会における主要な時事の基本用語を 理解し、自分の考えや意見を持つための学 習を行う。		15	1	0			0		0		
72	0	国内旅行基礎 (地理) I	国内・総合旅行業務取扱管理者試験の「実 務科目」の国内観光地理についての学習を 行う。		30	1	0			0		0		
73	0	国内観光資源 応用 I	国内地理の基礎講義を終了して、問題演習 を実施しながら地方別に知識の定着を図 り、国内旅行地理検定中級の合格を目指 す。	1	30	1		0		0		0		
74	0	国内観光資源 応用Ⅱ	国内地理の基礎講義を終了して、問題演習 を実施しながら観光資源別に知識の定着を 図り、国内旅行地理検定中級の合格を目指 す。	1	30	1		0		0		0		
75	0	ホテル接客I	接客や敬語の基礎を学び、表現力を上げるための講義・実技指導を行い、コミュニケーション能力を養う。現場実習前学習を 行う。	. 1	60	2		0		0		0		
76	0	ホテル実習I	インターンとして各ホテルにてOJTにて実習を行う。現場の方より、実践的な基礎を学び、今後の就職活動に活かせる学習を行う。	1	30	1			0		0		0	0
77	0	ホテル実習Ⅱ	インターンとして各ホテルにてOJTにて実習を行う。現場の方より、実践的な基礎を学び、今後の就職活動に活かせる学習を行う。	1	60	2			0		0		0	0
78	0	ホテル実習Ⅲ	インターンとして各ホテルにてOJTにて実習を行う。現場の方より、実践的な基礎を学び、今後の就職活動に活かせる学習を行う。	1	90	3			0		0	0		
79	0	ホテル業界研究	外部企業による講演会を実施し、ホテル業界の業務内容や業界の現在と今後について学習し、就職に向けた実践的な知識を養う。	1	15	1	0			0			0	0
80	0	ホテル実務Ⅲ	ホテルビジネス実務検定ベーシックレベル 1級に向けた学習を行う。2級の復習も兼 ねながら、部門ごとに学習を行い、ホテル 知識の応用を学習する。	2	30	1		0		0		0		0
81	0	ホテル実務Ⅳ	ホテルビジネス実務検定ベーシックレベル 1級に向けた学習を行う。問題を解きながら、部門ごとに学習を行い、ホテル知識の 応用を学習する。	2	30	1	0			0		0		
82		宿泊プランニ ング	決定し、広告を作成。その後、プレゼン	2 後	60	2		0		0		0		
83	0	ホテルマーケ ティング応用	ナーションを行う。 ホテルにおける会計部門の学習を行う。ホテルにおける売上の成り立ちから、利益の 学習まで幅広く行う。	2 後	30	1	0			0		0		
84	0	ホテルビジネ スマナー	ホテルビジネスマナーについて学習を行う。各部署や役割に応じた、立ち居振る舞い等、レクチャー及び演習を行う。	2	60	2		0		0		0		
85	0	言語知識(日 本語) I	日本語の言語知識(文字、語彙、文法)を学び、コミュニケーション能力(読解、聴解)を養います。		60	2	0	Δ		0		0		

86	0	言語知識(日 本語) II	日本語の言語知識(文字、語彙、文法)を学び、コミュニケーション能力(読解、聴解)を養います。	1 後	60	2	0	Δ	0	0	
87	0	言語知識(日 本語)Ⅲ	日本語の言語知識(文字、語彙、文法)を学び、コミュニケーション能力(読解、聴解)を養います。		60	2	0	Δ	0	0	
88	0	言語知識(日 本語)IV	日本語の言語知識(文字、語彙、文法)を学び、コミュニケーション能力(読解、聴解)を養います。		60	2	0	\triangleright	0	0	
89	0		ホテルで勤務する際に求められるコミュニ ケーションを様々なシチュエーションから 学ぶ		60	2	0	Δ	0	0	
90	0		ホテルで勤務する際に求められるコミュニ ケーションを様々なシチュエーションから 学ぶ		60	2	0	Δ	0	0	
91	0		ホテルで勤務する際に求められるコミュニケーションを様々なシチュエーションから 学ぶ		60	2	0	Δ	0	0	
92	0		ホテルで勤務する際に求められるコミュニケーションを様々なシチュエーションから 学ぶ		60	2	0	Δ	0	0	
93	0	ホテルキャリ アデザイン I	ホテル業務上必要な知識、人間関係構築方 法などをより細かなシチュエーションから 学ぶ		60	2	0	Δ	0	0	
94	0	ホテルキャリ アデザインⅡ	ホテル業務上必要な知識、人間関係構築方法などをより細かなシチュエーションから 学ぶ		60	2	0	Δ	0	0	
95	0	ホテルキャリ アデザインⅢ	ホテル業務上必要な知識、人間関係構築方 法などをより細かなシチュエーションから 学ぶ	2 前	60	2	0	Δ	0	0	
96	0	ホテルキャリ アデザインⅣ	ホテル業務上必要な知識、人間関係構築方法などをより細かなシチュエーションから 学ぶ	· 2 後	60	2	0	Δ	0	0	
97	0	マナー接遇基礎	サービス接遇検定3級の基礎知識の学習。 サービススタッフとしての顧客対応知識の 基礎を学習する。	1 前	30	1	0		0	0	
98	0	マナー接遇応 用	サービス接遇検定3級の学習を通じ、サービススタッフとしてケースに合わせた接客 技法の習得を目指す学習。	1 後	30	1		0	0	0	
99	0	ビジネス文書	社内文書、社外文書などビジネス社会に必 要な文書作成能力を養う。	1 後	30	1		0	0	0	
100	0	職業実践演習 (基礎)	接客の現場基礎知識を基に、接客応対について学習する。	1 後	30	1		0	0	0	

101		0	職業実践演習 (応用)	接客の現場応用知識を習得する科目。ケースに合わせたロールプレイングにより技術 習得を図る。	2 前	30	1		0	0	0	
102		0	ホテル理論基 礎	H検B2級対策基礎学習内容を理解しながら顧客接客手法を同時に学ぶ。	1 前	60	2	0		0	0	
103		0	ホテル理論応 用	H検B2級対策演習を通じ、ホテル運営全 般知識の習得並びに検定試験問題の理解を 深める演習学習。	2 後	60	2		0	0	0	
104	0		総合旅行応用 I	総合旅行業務取扱管理者試験の項目別答練を行い、知識の定着を図る。苦手な箇所のボトムアップを中心に、得点アップできるよう問題を行う。	2 後	30	1		0	0	0	
105	0		総合旅行応用 Ⅱ	総合旅行業務取扱管理者試験の試験前答練をし、集大成の学習をする。過去問や予想問題など多角的な問題に取り組み、合格を 目指す。		60	2		0	0	0	
106	0		海外観光資源 応用 I	海外地理の基礎講義を終了して、問題演習 を実施しながら地方別に知識の定着を図 り、海外旅行地理検定中級の合格を目指 す。	2 後	30	1		0	0	0	
107	0		海外観光資源 応用Ⅱ	海外地理の基礎講義を終了して、問題演習 を実施しながら観光資源別に知識の定着を 図り、海外旅行地理検定中級の合格を目指 す。	2 後	30	1		0	0	0	
108	0		ホテル実践Ⅲ	ホテル接客の基礎知識を学び、それを実践 して行う宿泊技術の演習。就職後に向けて 実践的な応用技術を身に付ける。		30	1		0	0	0	
109	0		ホテル実践Ⅳ	ホテル接客の基礎知識を学び、それを実践 して行う会計等技術の演習。就職後に向け て実践的な応用技術を身に付ける。		30	1		0	0	0	
110		0	鉄道概要	鉄道業界についての事例および講義をメイ ンに実施	1 後	15	1		0	0	0	
111		0	駅実務	駅係員の基本動作、実務を実施する	1 後	15	1		0	0	0	
112		0	運転関係取扱 (運転士・車 掌)	運転士、車掌の業務を理解する	1 後	15	1		0	0	0	
113		0	安全設備	テキスト・配布プリント資料を用いながら 安全及び安全作業について学ぶ	1 後	15	1		0	0	0	
114		0	鉄道接遇	接客の基本動作と鉄道業における基本知識 を講義、体験による学習を中心に学習して いく。		15	1		0	0	0	
115		0	鉄道車両	テキストを基に制御装置・制動装置について理解する。車両の写真等を用いて鉄道車両の仕組みをを知る		15	1		0	0	0	

116			0	運転関係(安 全と規程)	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る。	後	15	1		0	0	0	
117			0	路線地理	国内の主要な観光資源(観光地名、温泉、 国立公園、郷土料理、祭り、特産品、旧国 名、JR線名、知っておきたい名数など) を確実に覚えていく。	2 後	15	1		0	0	0	
118					料飲サービスに必要な知識と、基本的な サービス技能を学ぶ	: 1 前	60	2	0	Δ	0	0	
119					料飲サービスに必要な知識と、基本的な サービス技能を学ぶ	1 後	60	2	0	Δ	0	0	
120				レストラン概 論Ⅲ	料飲サービスに必要な知識と、基本的な サービス技能を学ぶ	: 2 前	75	3	0	Δ	0	0	
121			0	レストラン実 務	レストランのサービス技術を学ぶ	2 後	90	4		0	0	0	
合計 121 科目 4770 単位(単位時間)													

	卒業要件及び履修方法	授業期間等			
卒業要件:	(卒業の認定) 1. 卒業の認定は、修業年限以上在学し、1700時間以上を履修し、か つ定められた授業科目及び単位数(62単位)を修得し、卒業審査に合 格した者について、校長が行う。	1 学年の学期区分	2 期		
履修方法:	(試験等) 1. 学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出により評価する。なお、本校において必要と認めた場合に限り、追試験または再試験を行うことがある。追試験は事故等やむを得ない理由により試験を受験しなかった者に対して行う。再試験は試験等受験の結果、不合格になった者に対して実施する。 2. 各授業科目の成績評価方法については別に定める。(学業成績) 1. 学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の5種をもってこれを表し、秀は90点以上、優は80点以上、良は70点以上、可は60点以上、不可は59点以下とする。(秀、優、良、可を合格、不可は不合格とする。) 2. 授業科目の成績は、前項の5種で表すと共に、それぞれの評価に対して、別に定める基準によりGP(Grade-Point)を与える。(単位の授与) 授業科目を履修し、各科目の成績を判定のうえ、秀、優、良、可を取得した学生には所定の単位を与える。(他の大学、専修学校等における授業科目の履修等) 1. 教育上有益と認める時は、校長の認めるところにより、他の大学、専修学校における授業科目の履修を、本校における授業科目の履修を、本校における授業科目の履修を、本校における授業科目の履修を、本校専門課程における授業科目の履修とみなすことができる。 2. 本校専門課程における授業科目の履修とみなすことができる単位数は、転学等の場合を除き、本校専門課程の修了に必要な単位数の2分の1を超えないものとする。	1 学期の授業期間	22 週		

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。